

# 職員同士がつながる～職員室が学びの場に～

本通信の第5号で、湊城西小学校の職員同士の「つながり」について紹介しました。今号では、放課後の職員室で実際に見られた場面から、先生方のつながりの具体を紹介します。



## ノート点検

A先生が子どもたちのノートを点検しながら、今日の授業を振り返っていると…

今日の問題、あまりできていないなあ。

先生、ため息ついてどうしたの？

今日の授業、子どもたちがよく分かっていないみたいで…

ノートも見てください。

そこは調査問題になる難しいところだね。

こんな指導方法があるよ。

何？何？

そうすればよかったんだ。

おはようございます！  
B先生、昨日はお疲れさまでした。

昨日は出張、お疲れさまでした。

おはようございます

先生方が「出張お疲れさまでした。」と、必ず労いの言葉をかけてくれます。

B先生、おはよう！  
昨日はお疲れさま。

先生、昨日の自習はお世話になりました。ありがとうございました。

昨日の研修は、どんな内容だったの？

昨日は新しいことを教えてもらいました！

わくわく

この資料をもらってきました！  
一番勉強になったのが…

それで？  
それで？

この資料  
回覧しますね！

私もやってみよう。

こんなやり方もあるね。

明日、再チャレンジするぞ！

教材研究の協議が、いつの間にか始まっています。

研修の内容を尋ねる先生が多く、自然に伝達講習が行われています。

## 採点作業

### 秋田県学習状況調査(※中学校でも実施されます。)

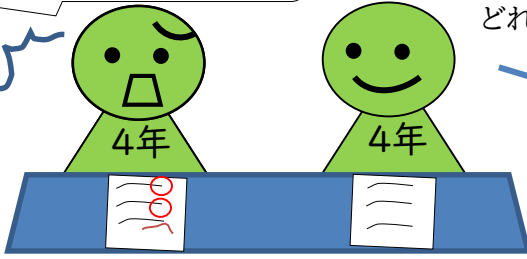
毎年、12月に小学校4年から6年の3学年を対象に、国・算・社・理の4教科と質問紙調査が実施されます。  
※社会は5、6年のみ

調査を実施した当日に全職員で分担して採点作業を行います。

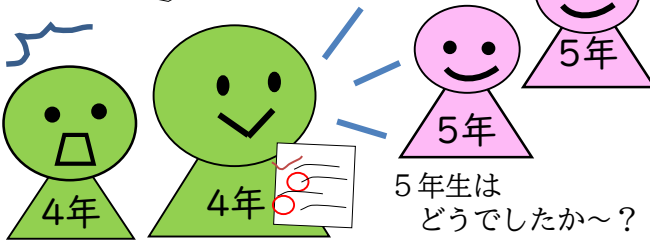


この問題に、つまづいている児童が多いですね。

どれ？  
どれ？



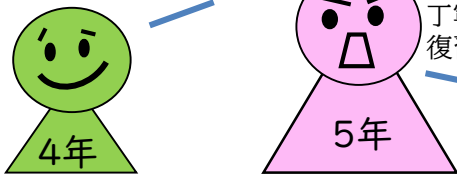
この問題は、3学年に共通している問題だね。5年生はどうだったか聞いてみよう！



この問題は、8割くらいできてたかなあ。でも、今回新しいタイプの問題が出題されて...

そんな問題が出題されているんだ！？  
どんな授業をしたらいいかなあ。

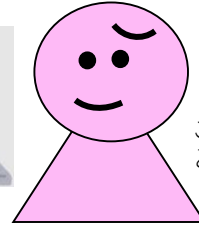
丁寧に解説して復習しなきゃ！



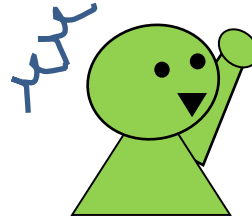
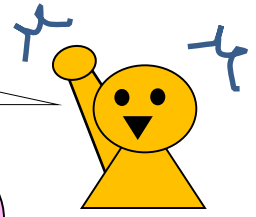
採点作業を行う中で、授業づくりについての話が広がります。

## 困ったときは

先生！  
それ分かるよ～！

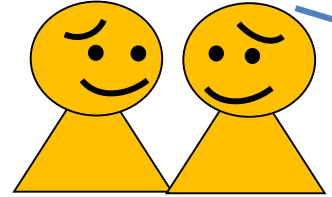


ここから先の操作はどうしたらいいんだろう？

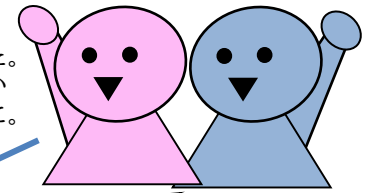


見学依頼の手続きはどうするんだろう？

先生！どうするか知ってますよ！

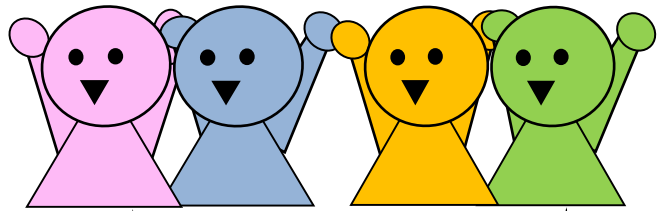


こんな時間になっちゃった。明日までに、終わらせないといけないことがあるのに。



大丈夫！それ、さっき二人でしておきましたよ～！  
もう、帰りましょう！

### 必ず誰かが助けてくれる安心感！



チーム、湊城西小学校

職員室でしかできない「連携」を大切にしています。「会話」を通して、職員が同じ悩みを共有し、共感することができます。話すことで、課題が明確になり、新しい目標や方策が見えます。後日、その方策がどうだったかを話題にすることで、小さなPDCAサイクルが回っているように感じます。信頼関係があるからこそ、学年を超えて話ができています。

清水 久美子 教諭 (2年生担任)



湊城西小学校2年生作  
「いつもやさしい し水先生」

### ～難波指導教諭のつぶやき～

職員室が私にとっても「学びの場」となっています。先生方それぞれの「強み」を共有し協議することで、新しい気づきが生まれ、実践につながっています。

